

「第6次留寿都村総合計画（案）」に対する意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

令和2年10月19日から11月13日まで、第6次留寿都村総合計画（案）に係るパブリックコメントを実施したところ、1個人3件のご意見・ご提案をいただきました。寄せられたご意見の概要を公表するとともに、村としての考え方を示します。貴重なご意見ありがとうございました。

意見提出者	意見番号	意見・要望の要旨	村の考え方
1	1-1	<p>基本計画8p③観光 現況と課題 3情報発信</p> <p>道の駅230ルスツは、本村にとって情報発信の重要な拠点施設であると考えますが、現状その機能を果たしているとは思えません。</p> <p>農産物直売所で販売する村特産の農産物は本村の産業情報の発信と言えます。さらに、本来であれば観光に関する情報を来場者に積極的に発信する基地であるはずですが。</p> <p>しかしながら、現在はどちらも中途半端になっているのではないのでしょうか？</p> <p>観光に関してはポスター等の掲示はあっても、それらについて尋ねる場所や係はなく、情報を発信しているとはまったく言えない状態です。</p> <p>今後は観光協会の事務所を道の駅に置くなどして、観光協会・村企画観光課・道の駅運営会社が一体となり情報を共有し、SNSなどを活用し情報を発信していく必要があるのではないかと思います。</p>	<p>道の駅230ルスツにつきましては、基本計画9pにおいて売上額及び客数の達成目標を掲げ、観光及び農業分野における重要な拠点として位置付けているところです。今後も道の駅の指定管理者や村観光協会と連携し、達成目標に向け道の駅の改善に努めてまいります。</p> <p>また、道の駅や地域資源を活用した観光客誘致やSNS等を活用した情報発信に努めるとともに、観光協会の体制強化を進めて参りたいと考えています。</p>

意見 提出者	意見 番号	意見・要望の要旨	事務局の方針
1	1 - 2	<p>基本計画 17 p ④住宅・空き家等 施策・取組 2-4-1</p> <p>先日、地域おこし協力隊の任期を満了した元隊員の方が留寿都村を離れました。同期の隊員もみな留寿都を離れています。なぜこの村はこのような人材を簡単に手放してしまうのでしょうか。地域おこし協力隊に対し、受け入れ側がこのような対応をしている以上、定住は望めません。</p> <p>受け入れ態勢及び受け入れ後の支援体制をもう一度見直す必要があるのではないのでしょうか？</p>	<p>ご指摘のありました元隊員の方につきましては、任期満了後起業に向けた活動を行い、本村としても活動支援をしていたところですが、環境の変化により残念ながら起業を断念し村を離れることになった旨本人より伺っているところです。</p> <p>地域おこし協力隊につきましては、任期期間中の活動支援はもとより、任期終了後も起業のための支援を行う等、定住促進に努めていく考えであり、基本計画 17 p にその旨記載しているところです。今後も隊員の受け入れ態勢及び受け入れ後の支援体制の充実等定住に向けた環境づくりに取り組んで参りたいと考えています。</p>
1	1 - 3	<p>基本計画 20 p ⑥道路・公共交通 現況と課題 3 公共交通</p> <p>10年後には新幹線が札幌まで延伸されます。現状バスしかない札幌行きが倶知安経由でより速く行くことができます。</p> <p>そのためには、留寿都・倶知安間のバス路線の充実が必須条件となります。朝早い便、夜遅い便があれば、新幹線を利用した通勤通学も可能になります。</p> <p>利用者が共同で利用するチャーター便やルスツリゾートとの共同運航など新しい手段の登場に期待します。倶知安～留寿都～洞爺湖という路線ができれば、観光客の利用も期待できます。</p> <p>新幹線という新しいツールを最大限利用し、今までとは違った発想も必要だと思います。</p>	<p>北海道新幹線の札幌延伸に伴い、後志管内全体の公共交通環境が大きく変化されることが予想されることとあり、本村においても地域公共交通ネットワークの見直しが必要になると考えているところですが、開業時期が10年後であり、現時点では具体的なものが見えていないこと、在来線の存続の有無によってバス路線等の状況が大きく変わり得ることが考えられます。</p> <p>このため、総合計画への反映につきましては、今の段階ではなく、5年後の後期基本計画において載せることが望ましいと考えており、ご指摘があった点につきましては、今後の策定に対するご意見として承り、後期基本計画策定時において検討したうえで記載を行いたいと考えております。</p>